

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
健康相談事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
<p>健康増進法に基づく健康増進事業による健康相談を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、血圧測定・体重・体脂肪率の測定を始め、尿検査、保健師・栄養士による健康及び栄養に関するアドバイスを通して市民の健康づくりに寄与する。</p>					
平成26年度実績					
<p>1)まちの健康相談室 実施内容:健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定・体脂肪測定(偶数月のみ)・尿検査(必要時) 実施回数:年間48回(市役所、三間保健福祉センター、津島保健センター、吉田支所において毎月実施) 参加者数:年間延べ 154人</p> <p>2)その他の健康相談 実施内容:歯周疾患健康相談、病態別健康相談、市民健康相談等 実施回数:年間延べ 172回 参加者数:延べ 1,481人</p> <p style="text-align: right;">総計:220回 延べ 1,635人</p>					決算額
					195千円
					実績値
					220回
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
<p>・平成25年度から引き続き、重症化ハイリスク者に対して、健診結果説明会(病態別健康相談)の利用勧奨を実施することにより、健診受診後の治療放置予防に役立っている。 ・定例相談日來所者は、固定化・高齢化しているが、健診結果のフォローの場や心の相談(健康不安)の場として定着している。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
<p>①生活習慣病重症化ハイリスク者への電話等による利用勧奨を継続する。 ②市民が集まる機会等へ出向き健康相談を実施する機会を増やす。(出前健康相談等)</p>					予算額
					256千円
					目標値
増加					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
健康教育事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
<p>健康増進法に基づく健康増進事業による健康教育を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、生活習慣病予防をはじめ市民の健康づくりを目的とした運動、栄養等に関する知識の普及と実践への支援を行う。</p>					
平成26年度実績					
1)教育内容(種別)					決算額
・病態別(生活習慣病やがん予防)、歯周疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、ロコモティブシンドローム予防及び一般健康教育等					639千円
2)ヘルスアップ実践講座・・・体験型健康教育を通じて、楽しみながら生活習慣行動の改善に取り組む					実績値
①運動編(基礎編)年間10回 参加者数 延べ 115人 ②栄養編(試食型及び実習型)年間11回 参加者数 延べ122人					249回
3)その他の健康教育及び啓発活動					進捗状況
①「健康づくり出前講座」の実施・・・公民館、保育園・幼稚園、学校等との連携による健康教育の実施 ②広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 ③「健康づくりパネル展」の実施・・・年間25回					4
健康教育 総計:249回 延べ6,294人					
事業に対する評価・課題等					
<p>・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、依頼元のニーズと市の健康課題を組み合わせ、プログラムや内容を検討し実施した。 ・ヘルスアップ実践講座では、本来参加して欲しい若い世代の参加が少ない。また、運動編では効果判定のためにも継続参加が必要である。 ・講座参加をきっかけとして、継続した社会資源活用をすすめていく必要がある。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成27年度予定					
①集団健診の場を利用した野菜摂取啓発(フードモデル使用)や婦人がん予防、COPD予防教育等を実施していく。(継続)					予算額
②生涯学習課主催の「生涯学習課職員会議」に出席し、各公民館へ「健康づくり出前講座」のちらし・ポスターの掲示依頼、「パネル展」に関する周知を行う。					757千円
③講座参加者の実践状況の評価を行う。					目標値
④市民が活用しやすい社会資源に関する情報提供を行う。					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	2 生涯を通じた健康支援							
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援				(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●	
高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	3回	18回					
事業の概要								
高齢者の健康支援のため、医師・看護師・栄養士・理学(作業)療法士・薬剤師等が地域の高齢者サロンに出向き、医療(健康)講座・相談を行う。 (24年度より実施中)								
平成26年度実績								
・高齢者サロン 2会場(約40名) 内容:理学療法士・作業療法士による講義・実技							決算額	
							-	
							実績値	
							2回	
							進捗状況	
							2	
事業に対する評価・課題等								
評価:内容については好評で、個別の相談も行った。 課題:PR不足(H26年度も継続して実施していることを知らない)のため、回数が少なかった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成27年度予定								
・高齢者サロン世話人会での講座内容等説明を行う。 ・内容を介護予防を中心としたものとする。 ・土日祝日についても可能な範囲で実施する。							予算額	
							-	
							目標値	
							10回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	42回	50回				
事業の概要							
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。							
平成26年度実績							
津島地区の各自治会の集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数7回、出席者数121人。							決算額
							—
							実績値
							7回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
8年前の現院長就任後から実施しているが、以前より回数が減少している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
各自治会で継続して開催していく。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特定保健指導の推進	保険健康課	37%	60%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。 特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。</p>							
平成26年度実績							
特定保健指導 積極的支援 対象者 165名 初回面接実施者 60名 実施率 36.4% 動機づけ支援 対象者 330名 初回面接実施者 141名 実施率 42.7%							決算額
							915千円
特定保健指導受講者の改善状況 (積極的支援から動機づけ支援・情報提供、動機づけ支援から情報提供になったもの) 平成25年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善率34.5%(昨年比 -4.4%) 動機づけ支援 改善率25.1%(昨年比 -5.9%)							実績値
							41%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>初回面接実施率は40.6%となり、昨年度の37%から上昇した。 平成26年度からの特定健診自己負担無料化の相乗効果により、新規受講者の割合が増えたことも上昇要因の1つだと考えられる。 過去に特定保健指導を受けたことがある者の受講率(リピーター率)は年々減少傾向であり、受講拒否理由は「忙しい」に次いで「自分流である」が多い。 改善率も昨年度と比較し減少しており、受講したことで効果が得られるような保健指導を実施していく必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
①特定保健指導対象者のうち、重症ハイリスク者に対しては受講の有無にかかわらず「生活習慣病等連絡票」を郵送し、受診・治療率を向上させ、重症化予防に努める。							予算額
②初回受講者と継続受講者に対する指導教材を分け、継続受講率向上に努める。							943千円
③継続受講者については「からだノート」を活用し、疾病の理解をより深め、主体的に生活改善に取り組めるよう支援する。							目標値
④魅力ある保健指導実施のため、支援スタッフのスキルアップを行う。							55%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成26年度実績							
実施回数33回(夜間糖尿病教室3回を含む) 延べ参加者数818人(入院155人 外来663人)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
5							
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な開催が継続できている。市広報や病院ホームページ、院内ポスター掲示、開催当日の院内放送などで、患者、市民に広く浸透し、糖尿病予防の啓発が図れた。 ・平成25年度の予定通り、これまでの内科のみならず皮膚科、歯科口腔外科、眼科などの医師や、栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、看護師のコアスタッフに加え歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講話を実施し、多角的に糖尿病の理解を深めることができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
昼間糖尿病教室年間30回、夜間糖尿病教室3回開催 平成26年度同様、医師・コメディカル・事務部門の全病院スタッフが講師となる予定。患者会(パール会)活動を通して世界糖尿病デーのイベントも平成26年度同様実施予定。							予算額
							—
							目標値
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成26年度実績							
実施回数12回 のべ参加者数199人(入院患者5人、外来患者194人)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送を実施していることから、患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
今後も定期的実施する。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師による肝臓病についての正しい知識や治療法に関する講義を行うほか、栄養士による栄養食事指導を行い、実践につながる学習機会の提供を行う。							
平成26年度実績							
実施回数4回 のべ参加者数33人(入院患者4人、外来患者29人)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
参加人数は他の教室に比べると少ないが、広報や院内掲示ポスターにより実施しており、本当に必要な患者の知識、普及は実施できていると考える。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
内科医師と栄養士により、平成26年度同様年間4回の実施予定。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
生活習慣病予防のために、食事内容の改善につながることを目的に、栄養士が減塩や野菜たっぷりのレシピを作成し、調理師とともに実習を行い、実践につながる調理自習の機会を提供する。							
平成26年度実績							
実施回数10回 のべ参加者数52人(すべて外来患者)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
毎回テーマに沿った献立を立案し、講義と調理実習を通して生活習慣病予防のため、日常的な実践に繋がる情報を提供した。また、男性の参加者も増え、昨年よりも、男女双方に事業効果があったと考えられる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
月1回実施予定(ただし8月、1月は休み)							予算額
							—
							目標値
							月一回実施

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(3) 壮年期からの健康づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康相談事業	保険健康課						
事業の概要							
<p>心の健康に関する相談事業をいう。 当該事業は、個別の相談に対して、相談窓口の周知による情報提供及び必要な助言を行うことにより、個々のもつ悩みを軽減することを目的として実施する。近年は、うつ病に関する相談をはじめ精神障害に関する相談や社会復帰のための相談が多くなっている。 事業の従事者としては、精神科医師、臨床心理士、保健師等で対応する。</p>							
平成26年度実績							
①実施場所	宇和島市役所						決算額
②日程	毎月第2水曜日：年12回 予約制						-
③スタッフ	精神科医師相談(精神科スタッフ)：年6回 保健師相談：年12回						実績値
④利用状況	実人数 11人 (うつ病1人 妄想：2人 統合失調症：1人 対人関係：1人 パニック障害1人 (相談内容内訳) ひきこもり：2人 介護疲れ：1人 発達障害：1人)						12回
⑥来所者内訳	10代：1人 20代：0人 30代：3人 40代：2人 50代：2人 60代：2人 70代：1人						進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>・来所や電話以外にも広報や健診会場、健診結果説明会で配布したちらしを診て相談を予約する者があった。 ・保健師相談の利用者は、医師相談につなぐケースが多かった。利用者は年齢が10～70歳代と幅広く、新規の相談ケースが9割を超えている。精神疾患に関する相談では、既に治療に結びついているケースからの相談もあり、本人以外の家族支援としても効果があった。相談後、介護保険を申請し、サービス導入開始となったケースもあり、医療や福祉だけでなく、介護も視野に入れた支援が今後必要である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
1)関係機関と連携し、継続した支援をおこなう。						予算額	
2)継続した相談窓口の周知						-	
①周知用ちらしの配布						目標値	
②保健事業を通じて、相談窓口の周知を図る。						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(4) 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康づくり教育事業	保険健康課			●			

事業の概要

精神保健に関する知識の普及を図ることを目的として、健康教育を実施する。
事業の内容は、全市民を対象とした講演会をはじめ、公民館、各種団体等に出向き保健師による健康教育を実施する。

平成26年度実績

①心の健康づくり講演会 日時：平成26年11月2日(日) 場所：市役所2階大会議室(大ホール) テーマ：「生きててくれてありがとう」～自分をゆるし、自尊感情を育むために～ 講師：北村 年子 参加者：187人							決算額	
							1,741千円	
	②心の健康づくり健康教育 年間計画に基づき、各地区で健康教育を実施	地区	開催回数	延人数	年齢別内訳			内容
					～39歳	40～64歳	65歳以上	
		対象者						
内容								
本庁	13	198	11	27	112	一般市民・ほっぺの会・男性料理教室来所者 食生活改善推進委員	このころの健康づくり ゲートキーパーになりませんか 傾聴と対応 このころの相談窓口 みつめなおそうママのころ うつ予防(DVD視聴)	
吉田	0	67	0	22	45	一般市民	このころの健康づくり ゲートキーパーについて(DVD視聴)	
三間	8	157	14	33	157	一般市民	ゲートキーパーについて	
津島	13	136	4	45	87	連合婦人会・男性料理教室参加者・一般市民	あなたもゲートキーパーになりませんか このころの健康づくり	
計	34	558	29	127	401			
							実績値	
							745人	
							進捗状況	
							5	

事業に対する評価・課題等

- ①心の健康づくり講演会
 ・講演会の内容が理解できた人 91.2%、内容が日々の生活に役立つと思った人は85.7%だった。
 ・講師の経験に基づいた具体的で説得力のある話であり、講師の「自尊感情を育てよう」「命を大切に」のメッセージが十分伝わった講演会だった。
- ②心の健康づくり健康教育
 ・多くの人にライフステージごとのストレス要因や起こりやすい心のトラブルと予防対策、ゲートキーパーの考え方について健康教育が実施できた。
 ・相談窓口をホームページで配布することで、窓口周知をすることができた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成27年度予定

1)心の健康づくりの普及啓発	予算額
①講演会の継続開催	719千円
2)地域に出向いた教育により知識の普及啓発	目標値
②年間計画に基づいた健康教育の実施……(内容)心の健康づくり、うつ予防、ゲートキーパーの必要性について等 相談窓口の周知も含む	600人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%			●	
事業の概要							
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。 「心身ともに健康な子」の育成。							
平成26年度実績							
薬物乱用防止教室を実施して、健康について学習する機会を持った。 学校医による健康管理に関する講演会を実施した。 校舎敷地内喫煙禁止の徹底を図った。							決算額
							実績値
							92%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
児童は、喫煙・飲酒・薬物使用の健康被害についての知識を深めた。 学校敷地内喫煙禁止の徹底により、健全育成に対する家庭や地域への啓発が行えた。 飲酒・喫煙・シンナーの吸引が成長を妨げる理解が深まった。 公共の場でのマナーについての理解が深まった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
敷地内禁煙の表示を作成し、外来者の禁煙を促していく。 学校だより、学級通信、ほけんだより、ホームページ等で、家庭や地域へ、喫煙、飲酒等の健康被害についての情報を提供する。 食育に関する研修(学級保健委員会)、小児生活習慣病予防教育の実施、禁煙教育の実施。 公共の場でのマナーについての学習の展開。 薬物乱用防止教室を実施し、学級指導の充実を図りながら、指導効果を高める。 保護者へ、受動喫煙防止について呼びかけを行う。 喫煙、飲酒の健康被害について「保健」「特別活動」に位置づけ授業で指導する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課						
事業の概要							
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を実施し達成する事ができた。							
平成26年度実績							
平成24年度で全館施設内禁煙を達成することができた。							決算額
							0千円
							実績値
							30館
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
市が管理している公民館は、市の方針として実施できているが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
市が管理している公民館は目標を達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり								
推進方策	2 生涯を通じた健康支援								
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策					
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向					
		現状値(H25)	目標値(H29)						
禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)			①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
<p>禁煙はこれまで個人の意志や努力の問題とされてきましたが、平成16年より厚生労働省は医師による禁煙指導を「ニコチン依存症」という病気に対する「治療」と位置づけ、公的医療保険の給付対象としました。</p> <p>禁煙外来では、禁煙の実行・継続にむけてのアドバイスや治療薬の処方を行うことにより、禁煙をサポートすることを目的としています。</p> <p>○宇和島病院＝心臓血管外科外来にて。毎週金曜日午後1時30分～午後3時30分 ○津島病院＝内科外来にて。毎週火曜日午後2時～4時</p>									
平成26年度実績									
<p><宇和島病院> H26年度患者数 33名、禁煙治療終了者 16名、禁煙成功者 24名。</p> <p><津島病院> H26年度患者数 1名、禁煙治療終了者 1名、禁煙成功者 1名。</p>								決算額	—
								実績値	
								左記のとおり	
								進捗状況	—
事業に対する評価・課題等									
今後も同様に継続してゆく。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成27年度予定									
								予算額	—
								目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	99.1%	100%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。

平成26年度実績

<対象>宇和島市に住居登録をしている妊婦 <内容> ・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。 ・健診内容は、平成25年度と特に変更なし。	①5枚綴り分			②9枚綴り分			決算額		
		交付数	受診数	受診率(%)		交付数	受診数	受診率(%)	36,818千円
	1回目	481	469	97.5%	1回目	485	488	100.6%	実績値
	2回目	488	484	99.2%	2回目	490	487	99.4%	
	3回目	490	470	95.9%	3回目	495	480	97.0%	97.5%
4回目	496	479	96.6%	4回目	497	469	94.4%		
5回目	500	365	73.0%	5回目	500	443	88.6%	進捗状況	
				6回目	501	398	79.4%		
				7回目	502	343	68.3%		
				8回目	501	237	47.3%		
				9回目	502	126	25.1%	5	

事業に対する評価・課題等

・妊婦健診初回(5枚綴り1回目)の受診率は97.5%であり、今後も定期的な受診の勧奨を続けていくことは必要である。
 ・妊婦健診の結果から、高血糖妊婦の割合が県下で高い状況であるため、高血糖妊婦に対しては妊娠中より栄養指導等を行っている。食事の影響で第1回目の健診結果で高血糖になる可能性もあるため、母子健康手帳交付時に健診受診方法について周知を行っている。
 ・今後も母子健康手帳交付時に、妊婦健診受診の必要性や利用方法について説明し、妊娠期の健康管理を支援していく必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成27年度予定

・平成27年4月1日受診分から、検査項目・実施時期(週数)が変更となる。 ・平成26年度と同様に14回分の受診票を交付し、適切な時期に健診を受けるよう勧奨し妊娠中の健康管理に役立てる。	予算額
	4,200千円
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
妊産婦相談	保険健康課			①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。							
平成26年度実績							
(対象)宇和島に住民登録をしている妊産婦 (従事者)保健師・管理栄養士 (内容)個々の妊産婦に応じた相談 (場所・回数) ・母子健康手帳交付時における妊婦相談: 481人 ・定例妊産婦相談(育児相談と同時開催): 宇和島保健センター、吉田公民館、三間保健福祉センター、津島保健センター計48回 【妊婦】相談者(実) 8人、相談者数(延) 17人 【産婦】相談者(実) 27人、相談者数(延) 50人 ・随時妊産婦相談: 集会所や公民館、電話等において随時実施 【妊婦】来所 15人、電話 41人 【産婦】来所等 8人、電話 16人							決算額
							0千円
							実績値
							48回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
・定例日の妊産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。 ・妊婦の相談は少なく、妊婦健診受診の際病院等で不安を解消している可能性もある。 ・母子健康手帳交付時には、妊娠中保健師や栄養士が相談に応じれることを説明し、出産に対する不安軽減に努めている。 ・母子健康手帳交付時に、アンケートや面接によりハイリスク妊婦の把握を行い、児童虐待予防の視点からも妊娠中から継続した支援を行っている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
・今後も、母子健康手帳交付時にアンケートや面接によりハイリスク妊婦を把握し、児童虐待予防の視点からも妊娠中から継続した支援を行う。 ・母子健康手帳交付時に、相談先を載せたカードを配布し、気軽に相談ができるようにする。また継続して妊産婦相談の周知も行う。							予算額
							0千円
							目標値
							48回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子健康手帳の交付事業	保険健康課			●			

事業の概要

妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。

平成26年度実績

(対象)宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦 (場所)本庁及び支所窓口にて交付 (内容)母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票・妊婦歯科健康診査受診票交付、 保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、 母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明 (従事者)保健師	決算額
	87千円
	実績値
	481人
	進捗状況
5	

	妊娠届出数	初産婦数
宇和島地区	418	183
吉田地区	25	6
三間地区	14	2
津島地区	24	5
計	481	196

事業に対する評価・課題等

・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師が関わり、虐待予防の視点を持ちアンケートや面接によりハイリスク妊婦の把握を行い必要な支援へとつないでいる。
 ・母子健康手帳交付時、夫婦での来庁も多く、妊娠・出産についての不安を夫婦で共有し、相談を行うことができている。
 ・妊婦アンケートから、妊婦の同居家族の喫煙率は昨年度より減少しているが、妊婦の喫煙率は増加しているため、今後も母子手帳交付時に喫煙による胎児や母体への影響を説明し禁煙支援を必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成27年度予定

・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師が関わり、ハイリスク妊婦の把握とともに、妊娠中から産後の関わりへと切れ目のない支援をおこなう。 ・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙含む)による胎児や母体への影響についての情報提供を行い禁煙を勧める。	予算額
	85千円
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
安産教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。							
平成26年度実績							
毎月、第1、第3、第4水曜日に実施(第1水曜日は栄養指導も実施)。 ・栄養指導分: 医師、助産師による指導、相談に加え、栄養士による栄養士指導等を実施 ・一般分: 医師、助産師による指導、相談。 実施回数22回 のべ223名参加							決算額
							—
							実績値
							左記
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
該当者には、検診時に案内していることから、多数参加してもらっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
これまで同様に実施継続する。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
育児学級	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。							
平成26年度実績							
参加者なし。							決算額
							—
							実績値
							0%
						進捗状況	
						1	
事業に対する評価・課題等							
助産師が不足しているため、事実上、休止している状態。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
以前より実施している退院1週間後の電話訪問で不安等の軽減にも努めていきたい。							予算額
							—
							目標値
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実	(1) HIV／エイズや相談の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数(確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。

平成26年度実績

愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。 また、思春期に関する講座「ひとり暮らしサポート講座(高校3年生)」(講座型5回生徒455人、実習型1回12人)「思春期保健健康講座(高校1.2年生)」(7回生徒411人)において、HIV／エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。 あわせて、市が作成した「ひとり暮らしサポートブック」にも啓発ページを掲載し、市内6校等871人の高校3年生に配布した。	決算額
	実績値
	進捗状況

事業に対する評価・課題等

愛媛県では、平成23年は11件、平成24年は10件と2年続けて報告数が多い状態が続いていたが、平成25年は5件、平成26年は6件と例年なみの報告数だった。平成27年は2月18日現在で1件の報告がある。今後も、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続き協力体制を継続するとともに、高校生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	

平成27年度予定

・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。 ・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育、及び他の学年の高校生、中学生など各校の依頼により学校に出向いて健康教育を実施。	予算額
	目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(1) HIV/エイズや相談の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。性に関する指導の充実。「心身ともに健康な子」の育成。学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。							
平成26年度実績							
年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。 保健体育と特別活動において、発達段階に応じた指導を行った。 保健体育において、生徒の発達段階に応じたエイズに関する学習を行った。また、人権教育の視点にたち、「一人ひとりを尊重し、あらゆる偏見や差別を許さない」生徒の育成を図った。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
専門の知識をもった養護教諭の指導により、正しい知識を得ることができた。 保護者への啓発や連携が課題である。 同学年の児童でも発達に差があり、個に応じた指導が難しい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
人権・同和教育の視点から、HIV/エイズ患者への偏見をなくす学習を行う。 保健主事が中心となり、年間指導計画を見直し、性に関する指導の充実を図る。 学校だより、学級通信、ほけんだより、ホームページ等を通じて、保護者への啓発を行う。 発達段階に応じた知識を身に付け、適切な行動をとることができるように性に関する指導の充実を図る。 エイズやハンセン病に関する人権学習の実施(6年体育科保健領域)。 保健体育及び学級指導の充実を図るために、年間指導計画に示し、計画的に実施する。 性に対する正しい知識や認識を持ち、自他の性や命を大切にすることを性教育を通して養う。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(2) 発達段階に応じた生命と人権を大切に 性教育の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切に、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。							
平成26年度実績							
道徳・学級活動を中心に、相手を思いやる心情の大切さについて指導した。 道徳、特別活動において生命尊重と性教育の学習を行い、参観日に授業公開した。 人権同和教育参観日の後、人権・同和教育主任が、生徒や保護者に対して、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことが大切であるという内容の講演を行った。 生命誕生のしくみを知り、一人一人かけがえのない存在であることを理解させるよう努めた。							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
生命尊重と人権尊重、男女平等について生徒の意識が向上した。 生徒の発達に差があり、個に応じた指導を展開することが難しいことが分かった。 学習したことを、学校・家庭・社会生活で実践していく力をさらに高めていきたい。 基本的な生活習慣の定着・向上について、改善されてきた生徒もいるが、指導が入りにくい生徒もいる。 性教育講演会による、現状の理解と今後の取組の充実を図る。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
道徳の全体計画及び年間指導計画を見直し、各教科等と関連した指導を行う。 心の教育の重要性を確認し、教科、道徳、特別活動において実践する。あらゆる活動を通して、命の大切さ、思いやりの心を育てる。 学級活動や学校行事の見直しを通して、男女が協力して活動する場を多く設定する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり																			
推進方策	2 生涯を通じた健康支援																			
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(1) 健康診査																
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向																
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続 ● ③新規															
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	22%	60%	①充実	②継続 ● ③新規															
事業の概要																				
<p>宇和島市国民健康保険被保険者の内、40歳から64歳の者を対象として実施する健康診査をいう。 糖尿病等の生活習慣病が起因とされている内臓脂肪症候群の該当者を早期に発見し、特定保健指導につなげることを目的として健康診査を行う。市民の健診に関する関心度や仕事が忙しいなどの理由による健診離れが進んでおり、健診の重要性を周知徹底する必要があると感じている。 健康の基本は、健診からであることを周知徹底することにより受診率アップに努める。</p>																				
平成26年度実績																				
・特定健診・後期高齢者健診：個別(6月～2月)・集団(6月～1月 61回)で実施					決算額															
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>昨年度受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診</td> <td>21123</td> <td>5524</td> <td>26.20%</td> <td>22.20%</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者健診</td> <td>15057</td> <td>624</td> <td>4.10%</td> <td>4.20%</td> </tr> </tbody> </table>						対象者	受診者	受診率	昨年度受診率	特定健診	21123	5524	26.20%	22.20%	後期高齢者健診	15057	624	4.10%	4.20%	44,863千円
	対象者	受診者	受診率	昨年度受診率																
特定健診	21123	5524	26.20%	22.20%																
後期高齢者健診	15057	624	4.10%	4.20%																
<ul style="list-style-type: none"> ・受診率アップへの取組 ①40歳の健診未申込者への受診勧奨訪問 ②50歳・60歳(節目年齢)の健診未申込への受診勧奨通知(申込みはがき同封) ③不定期受診者等への電話による受診勧奨 ④新聞折り込みチラシやケーブルテレビの活用 ⑤事業所健診・人間ドックなどのデータ取得 					実績値															
					26.2%															
					進捗状況															
					4															
事業に対する評価・課題等																				
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率は、毎年上昇傾向にあるが、国の目標の60%には程遠い状況である。 ・不定期受診者への受診勧奨では、勧奨者の6割強から申込みがあり、継続受診への動機付けとなった。 ・働き盛り年代の受診率が特に低いため、今後は個別勧奨だけでなく、市民同士の受診勧奨等の地域ぐるみの取り組みが必要である。 																				
男女共同参画の視点での評価																				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4															
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4															
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5															
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5															
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5															
平成27年度予定																				
1) 受診しやすい健診体制の整備 ・特定健診の無料化及び周知の継続 ・市民が利用しやすい健診会場の設定(きさいや広場) ・年度末年齢40歳のがん検診の一部無料化の継続 2) 受診率アップの取り組み ・金融機関等との協定締結による受診勧奨の実施 ・国保新規加入時のアンケート実施(健診歴や健康意識の把握及び健診等の勧奨実施) ・40歳の健診未申込者への受診勧奨継続 ・健診登録制開始への準備 ・健診受診者への健康管理ファイルの配付(継続受診への動機付け) ・ケーブルテレビ等マスコミの活用 ・個別健診増加に向けた取り組みの継続(受診勧奨・医療機関への協力依頼) ・事業所健診結果取得・・・委託契約締結医療機関の追加					予算額															
					52,046千円															
					目標値															
					30%															

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(1) 健康診査		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。							
平成26年度実績							
一般個人の受診のみならず、企業等の契約を積極的に受け入れている。 ドック受診者数 1日ドック:1052人 2日ドック:452人 脳ドック:122人 合計1626人						決算額	—
						実績値	—
						左記のとおり	—
						進捗状況	—
事業に対する評価・課題等							
2日ドックについては人数制限に対して比較的余裕があるが、1日ドックについては7～1月くらいまで企業等の予約でいっぱいになって余裕がない状態。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成27年度予定							
						予算額	—
						目標値	—
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備	(2) がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	8.7~29.0%	50%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。
 死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に当市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療なくしてがん死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の精度管理等の充実に努め受診率アップを図る。

【がん検診項目】

- ・40歳以上を対象:胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(乳房超音波検診:30歳以上女性)
- ・20歳以上を対象:子宮がん検診

平成26年度実績

・子宮がん、胃がん検診(胃透視・胃カメラ)は個別健診を実施							決算額
H26年度 がん健診実施状況							61,725千円
クーポン事業受診状況							実績値
	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん(マンモ)	8.2~16.5%
受診者	2,825	4,575	4,861	1,758	3,413	3,268	進捗状況
受診率	8.2	13.3	14.1	14.0	14.6	15.6	4
回数	62	66	71	62	45	48	
	子宮頸がん		乳がん(マンモ)				
	受診者(人)		受診率(%)		受診者(人)		受診率(%)
H25年度	272		14.9%		790		29.0
H26年度	803		16.5		800		12.2

事業に対する評価・課題等

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1) 受診しやすい検診体制の整備 | 2) 精密検査が必要な人への面接、電話等で受診勧奨 |
| ・年度末40歳の一部がん検診無料継続 | |
| ・子育て中が受診しやすい検診体制(ボランティアの協力等) | 3) がんに関する正しい知識の普及のため機会ある毎に周知する。 |
| ・子宮頸がん・子宮体がんセット健診の試行的実施 | |
| ・子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券送付(対象年齢者のみ) | |

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成27年度予定

1) 受診しやすい検診体制の整備	2) がん検診要精密者の不安軽減及び受診支援	予算額
・女性が受診しやすいレディース検診日の設定	・精密検査受診率の低いがん検診の受診勧奨の強化	61,219千円
・婦人検診時の託児の継続	3) がんに関する正しい知識の普及	目標値
・子宮頸がん・体がん検診の実施	4) がんに関する相談体制の整備	
・検診に関する周知方法の充実と継続	・個別支援と情報提供	
・子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券送付(対象年齢者のみ)		

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。</p> <p>平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。</p>							
平成26年度実績							
<p>24年4月から、9施設4医師での診療体制を維持しており、平成26年度は蔦淵診療所長が遊子・下波・蔦淵診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路・能登出張所を兼任管理している。</p> <p>26年度も診療所が所在する地域の人口は減少傾向にあり、受診患者数を同じ傾向にある。</p>							決算額
							実績値
							9施設4医師
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>市立宇和島病院において、医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。給与の増額等の変更は財政上厳しく、募集要件としては現状維持にある。今後も医師募集は継続して行っていく必要があり、フルタイムでの勤務体制を構築していくことも急務である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。</p>							
平成26年度実績							
<p>平成26年度は戸島診療所長が兼任管理する嘉島診療所への交通手段として、月曜日、水曜日及び金曜日の午前中、定期運航している。また、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行っている。</p>							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない地域に所在しているが、これら地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船をりようしている。特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風や災害時の運航停止等不測事態となる時があり、診療船の果たす役割は非常に大きくなっている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
<p>27年度も26年度同様、戸島・嘉島間の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。今後医師の退職等により診療日程の変更、兼任管理の変更が必要となるが、適宜、実情に即した対応を行う。</p>							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備		(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>					
平成26年度実績					
<p>25年度に引き続き診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診察することができる。診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。</p>					決算額
					0千円
					実績値
					進捗状況
3					
事業に対する評価・課題等					
離島であるため患者の輸送手段が限定され、診療所医師の不在や診療所での受け入れ時、医療機器の設備面での不足問題等が生じてきて病院から診療所での対応できないと思われる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
					予算額
					目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>入院を必要としない程度の方を対象に医療を提供している診療所(クリニック)や、生命に危険のある方を助ける3次救急医療や高度専門医療を提供する市立宇和島病院のような急性期病院が、自らの施設の機能や規模、特色、宇和島圏域の医療の状況に応じて、医療の機能分担や専門化を進め、円滑な連携を図るとともに、それぞれの医療機関の有する機能を有効かつ迅速に活用することにより、一層、受診者の方々がシームレスで適切な医療を受けることができるようにする。</p> <p>また、県下統一の地域医療連携システムを導入することによって、各種地域連携パスとともに上記地域医療連携を促進する。</p>							
平成26年度実績							
<p>地域連携室を中心に転院先の確保から在宅療養支援、看取りに至るまでありとあらゆる相談支援に対応し、シームレスな地域連携の強化及び患者・家族の不安解消にもつながっている。</p> <p>地域医療連携システムについては、今後の診療情報のIT化を見据え、新たな地域医療連携システム(きさいやネット)を構築し平成27年度から本格稼働している。また、脳卒中地域連携パスの運用実績は年間122件と大幅に実績を伸ばしている。</p>							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>○各専門職の特性を活かした相談支援機能の強化を図ることができた。</p> <p>○地域医療連携ネットワークシステム(きさいやネット)の運用体制を確立した。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。</p> <p>○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成26年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の市民公開講座、医師等を対象とした放射線・化学療法・緩和ケアなどの研修を実施した。 ・拠点病院として緩和ケア研修会を実施し、がん診療に従事する医師等の緩和ケアに関する基本的知識、技術の習得を図った。 ・がん患者とその家族を対象にがんサロン(さくらサロン)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 ・がん相談支援センター窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がん治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 <p>平成26年度 面談相談 980件、電話相談 570件</p>						決算額	
						18,493千円	
						実績値	
						左記のとおり	
						進捗状況	
						5	
事業に対する評価・課題等							
おおむね好評をいただいている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
これまで同様継続してゆく						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—